

平成 21 年 10 月 26 日

(参考資料)

住友信託銀行株式会社

中国省エネ・環境事業会社設立への資本参加について

～中国のエスコ事業を推進する会社への日本企業の資本参加は初めて～

住友信託銀行株式会社（取締役社長 常陰 均／以下「住友信託銀行」）は、この度、拡大発展が見込まれる中国の省エネ・環境市場において、科理管理顧問服務有限公司（\*1）等が、日本企業の高度な環境技術を活用しエスコ事業（\*2）など省エネ・環境事業を行うために香港に設立した科力信環境節能有限公司（\*3）に資本参加しました。中国企業と合弁でエスコ事業を推進する企業の設立は、日本では初めてとなります。

科力信環境節能有限公司は、現在、北京当局に中国本土で省エネ・環境事業を展開する子会社（以下「新会社」）の設立を申請しています。

科力信環境節能有限公司は、新会社が国営大手の機関車車両製造企業である中国北方機車車輛工業集团公司傘下の北京二七軌道交通装備有限責任公司（二七工場）とエスコ事業に関する契約を締結することに合意しました。この契約には、工場内に設置されている石炭ボイラの燃焼効率を改善する出光興産株式会社の技術等、日本企業の先端技術を活用した省エネ・メニューが盛り込まれており、今後新会社は、他の国営大手機関車車両製造工場にも同様な省エネ・メニューを提案していく方針です。

また、新会社は、東洋エンジニアリング株式会社と業務提携契約を締結することを予定しています。これにより新会社は、東洋エンジニアリング株式会社が得意とする石油化学系の工場の省エネをはじめ、同社と各種産業向けの省エネ事業を大手国営企業を中心に推進したいと考えており、省エネ以外の環境事業への展開も想定しています。

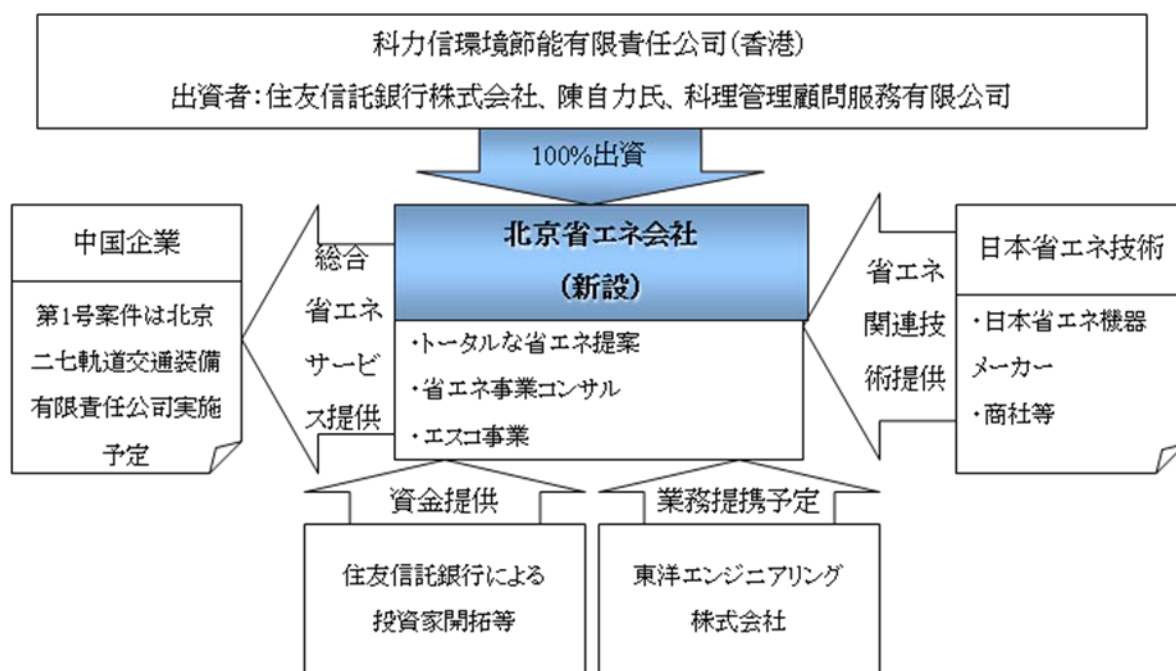
住友信託銀行では、本件出資にとどまらず、今後、金融機関としてのノウハウを活用した投資家開拓等を通じ新会社の事業拡大を支援するビジネスモデルを構築するとともに、取引先などとのネットワークを活用し中小企業を含めた日本企業の先進的な省エネ技術を中国に紹介していく等、同社が推進するエコ・トラステーション事業（\*4）の一環として本件を積極的に推進していきます。

住友信託銀行は、中国において上海支店での人民元取扱、邦銀唯一の QFII 取得での中国 SRI ファンドの設立を予定しており、今後も中国を中心とするアジアビジネスに注力していきます。

以上

(ご参考)

(概要図)



\*1 ; 科理管理顧問服務有限公司について

< 主要業務 >

生産性の管理、効率化、品質向上のコンサルティング及び職員研修。ISO9000、ISO14001の認証コンサルティング。

\*2 ; エスコ事業について

省エネビジネスの一つで、エスコ事業者が省エネ設備及びその投資資金の提供を行い、省エネ効果により投資資金を回収する事業。

\*3 ; 科力信環境節能有限公司 (Techno-Power Eco-Energy Company Limited) について

< 資本金 >

798 万 HK ドル(約 1 億円)

< 社長 (総経理) >

陳自力 (現中和住友信諮詢 (北京) 信託系統技術有限公司 (STBCC) 副総経理)

< 住友信託の出資比率 >

41.98%(うち無議決権株式 34.98%、議決権比率 7%)

\*4 ; エコ・トラステーション事業

住友信託銀行が推進する環境金融事業。環境 (エコ) の問題に対し信託銀行の機能 (トラスト) を活用し解決 (ソリューション) に貢献する。CSR の一環でもある。